

祝 辞

新潟商業高校の令和3年度入学式にあたり同窓会を代表してお祝いと激励の言葉を述べさせていただきます。

新入生の皆さん、厳しい入学試験を突破してのご入学おめでとうございます。また晴れてこの良き日を迎えられ保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

ご承知のように昨年から、新型コロナウイルスによる世界的な感染拡大の渦中にあります。私たちが今、新たに変化しながら威力を増すウィルスと国を挙げて闘っております。

新入生の皆さんは入学の喜びと共に、この大切な時に高校生活のスタートを切るという強い意識を持っていただきたいと思います。

先月卒業した皆さんの先輩も、ウィルス禍の制約下に耐えながら、学業と部活動に実績を上げ大学、社会へと逞しく羽ばたいていきました。皆さんも是非、伝統校の誇りを胸に先輩たちに続いてください。

皆さんの選んだ新潟商業は全国屈指の輝かしい歴史を誇ります。明治16年11月に開校し、今年で138周年を迎えます。創立以来の同窓は3万6千人にのぼります。

しかも、創立時の意気込みと、脈々と流れる心意気が他を圧倒します。母校の歴史はふるさとの近代史でもあります。

古くから港で栄えた新潟は、幕末から明治にかけて鎖国を解いて世界に門戸を開いた、「開港五港」の一つです。新潟は明治元年に日本海側唯一の開港場です。東西の文化、物資、情報を運んだ北前船の最大の中継地として江戸幕府を日本海側から支えた歴史があります。

「開港の進取の精神で近代日本を担う人材育成を」の合い言葉のもと、母校は政財界の熱い思いで現在の商工会議所とワンセットで誕生しました。横浜、神戸、長崎、函館と一味違う開港地で生まれ育った学校です。多くの人材が県内外、国際社会で活躍してきております。

放映中の大河ドラマ「天を衝け」は日本資本主義の父・渋沢栄一が主人公です。渋沢は新潟県の経済界とも深く関わり、新潟商業同窓の先人やゆかりの人々も、広く交流したといわれます。皆さんと改めて母校の栄えある歴史を胸に刻みたいと思います。

「文武両道」を掲げる本校に相応しい校舎が5年がかりで完成しました。伝統の地・芦原に明治期の面影を伝えながら近代建築に生まれ変わりました。後輩の皆さんが、すばらしい環境で活躍できる姿は同窓会にとっても大きな喜びです。

新商のバックボーンは「熱・誠・忍」の葦原魂です。熱き心、誠の心、耐え忍ぶ心を磨き、多くの課題や困難に立ち向かい前進します。ウィルスによる困難ともいえる今こそ葦原魂の本領発揮の時です。同窓会は母校の応援団でもあります。皆さんの充実した高校生活とご活躍を期してエールを送ります。

結びにコロナ禍にあって日々、在校生のために献身的にご指導されている仲野校長をはじめ教職員の皆様に深く感謝申し上げます。

令和3年4月6日

葦原同窓会会長 高橋道映